

認知症と向き合う

～すこやかに老いるために～

場所

東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂
(M&Dタワー2階)
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

2017年 3月4日 土

13:00-17:00 (12:15開場)

定員 500名 ● 参加対象：一般

入場無料

= 参加申込専用webサイト =

<http://sympo17.tr-networks.org>

定員に限りがございますのでお早めにお申込みください。

申込〆切：2017年3月2日(木)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

シンポジウム終了後に懇親会がございますので、お時間がございましたらご参加ください。

日時 ▶ 2017年3月4日(土) 18:00-20:00 会費 ▶ 5,000円

場所 ▶ 東京ガーデンパレス
〒113-0034 文京区湯島1-7-5 ☎ 03-3813-6211

[理事長挨拶] 珠玖 洋 健康医療開発機構理事長、三重大学大学院医学系研究科教授

第1部 科学の観点から / Science 「認知症医療の現状と最先端の医療開発」

基調講演① 「アルツハイマー病の分子病態と超早期治療に向けての研究開発」

岩坪 威 東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経病理学分野 教授、J-ADNI 主任研究者

講演その① 「米国における認知症研究成果の社会還元と啓蒙活動」

井原 涼子 東京大学医学部附属病院 早期・探索開発推進室・神経内科 特任助教

講演その② 「アルツハイマー病疾患修飾薬のグローバル研究開発の最新動向」

後藤 太郎 日本イーライリリー株式会社 研究開発本部 精神神経疼痛領域 医学部長

基調講演② 「認知症医療・ケアの現状と課題」

三村 将 慶應義塾大学医学部精神神経科 教授

第2部 社会的アプローチから / Society 「認知症と生きる」

講演その① 「認知症施策 / 最近の動向」

新美 芳樹 藤田保健衛生大学脳神経内科学 助教

講演その② 「超高齢社会への対応—生涯現役社会の構築を目指して—」

江崎 禎英 経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課長

講演その③ 「認知症の患者さんとその家族をサポートする漢方」

渡辺 賢治 慶應義塾大学環境情報学部、医学部兼任教授

講演その④ 「メディアからみた認知症」

飯田 祐子 読売新聞東京本社社会保障部

主催：特定非営利活動法人 健康医療開発機構

特別協賛：鹿島建設(株) 東日本旅客鉄道(株)(予定)

後援等：文部科学省(予定)、厚生労働省(予定)、経済産業省(予定)、読売新聞社(予定)

協賛：(株)アインホールディングス 星槎グループ(国際学園・世界こども財団)



Health
and
Medicalcare Promotion

NPO健康医療開発機構事務局

TEL: 03-5795-0096 FAX: 03-5795-0098

Email: sympo17@tr-networks.org <http://www.tr-networks.org> (入会受付中)